

職員による自己評価

A環境面

- スペースが十分取れている。
- 研修の機会が増えている。
- 保護者の意向等を把握し改善に繋げている。
- スタッフ配置数・バリアフリーに難あり。
- PDCA サイクルに広く参画しているか疑問。

B 児童への支援内容

- 役割分担等、職員間の打合せを密にしている。
- 日頃から子どもの状況を保護者と共有し、把握に努めている。
- 活動プログラムが固定化してしまう傾向がある。

C 関係機関との連携

- サービス担当者会議等に参加している。
- 年間を含め、学校行事などの確認が出来ている。
- 卒業後の情報共有、保護者とのペアレントトレーニング等の支援が出来ていない。

D 保護者への説明責任・信頼関係

- 保護者との情報共有や意思疎通に配慮している。
- 個人情報には十分注意し、定期的な会報等の配布を行っている。
- 子育て支援等、悩みに必要な助言を行いたい。

E 非常対応

- 避難訓練・虐待防止等研修だけでなく、アレルギーも含めマニュアルも周知させたい。

保護者による評価

A環境面

- 活動スペース・職員の配置・研修への努力を評価いただいている。
- バリアフリーが出来ていない。
- 保護者同士の関連がない。

B 児童への支援内容

- 活動プログラムの固定化・ニーズに課題がある。
- 障害のない子どもとの活動機会がない。

C 事業所からの情報発信

- 連絡等十分にとれている。
- 保護者へのマニュアル周知が不十分。

D 非常対応

- 避難訓練や下校時刻の変更等対応している。

E 満足度

- ほぼ支援には満足して頂けているが、高校生が増え支援の内容に変化がほしい。

事業所内での分析

【共通点】

- 活動スペースが十分とれている。
- 定期的な避難訓練等を行っている。
- 障害のない子どもたちとの交流がない。
- 保護者同士の連携・緊急時対応マニュアル等の周知が出来ていない。

【相違点】

- 職員の配置数・活動プログラムの固定化。
- 保護者とのペアレントトレーニング・子育てについての必要な助言。

## 分析・検討してみて…

### 事業所の強み

- 訓練室等、スペースが十分にとれ環境面が満たされている。
- 活動プログラムの企画・運営等、しっかりと行われている。
- 保護者との信頼関係。
- 地域の方々の理解と交流がある。
- 高校卒業後の進路に向けた取り組み。

### 事業所の改善点

- バリアフリー・活動プログラムの固定化。
- 個人情報の取り扱い。
- 保護者への必要な助言。
- 緊急時対応マニュアル等の周知。
- 目標設定と振り返り。
- 父母会等の検討。

### 事業所の改善への取り組み

- 訓練等は実施しているが、マニュアルの周知がされきれていない部分があるので、共通理解していく。
- 終了時の打ち合わせについて、安定していないところを今後の課題とする。
- 様々なプログラムを検討し、柔軟に実施していく。
- 利用児童の特性等を考えさらに構造化させる必要があり、「分かりやすさ・誰でも出来る」など仕切りや枠等の物理的な設定を検討する。

### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

通所の楽しみや卒業後を意識したプログラムに評価をいただき有難く感じるとともに、「子どもたちへの支援内容をさらに工夫して行かなくてはいけない」と改めて思いました。

改善点については、着手出来る部分から一つ一つ行って行きたいと思います。

社会へ出ていく子どもたちのために、自分の持てる力以上の支援を行っていかこうとする uni のスタッフたちは、もしかしたらクリームソーダを超えて行ってしまおうのではないかと心配です。子どもたちのために、クリームソーダも頑張ります。